古河電気工業と古河電工産

座学では、同社指導員がオ

高機能型低圧アル

ミ導体CVケーブル 「らくら リジナルテキストで「専用端 子の必要性」 電食対策 施する。 者自身で実際に端末処理を実

意事項を説明し、その後受講

意図を説明する。

講習会は、

2月に神奈川

取り組んでいる」と講習会の

おくべき知識を解説する。実 線の接続に当たる際に知って 用者から質問の多いアルミ導 器事業部門エネルギーバック ンフラ統括部門産業電線・機

アルミケーブル講習会 キャスト課の桜井裕士主査



している。

問して実施することも可能と 望があれば各地に指導員が訪 ンター」で実施するほか、 くアルミケーブル技能訓練セ 塚工場内に開設した「らくら 平塚市の古河電工産業電線平

Νo

0 5

講後の理解度確認テストの合

古河電

の2部構成となっている。受 トプログラムで、座学と実技 技能を修得するためのサポー

6

る技能者が同製品の正しい知 講習会を始めた。施工に当た

\アルミケーブル」端末施工。

酸化被膜の除去」など、

古河電気工業エネルギーイ

識を持ち、適切な端末処理の

技では、指 は、 「アルミケーブルの普及

格者に修了証を発行する。 らくらくアルミケーブル て手順と注

導員が作業 には、

デモンスト レーション なが とが重要だ。アルミケーブル 者に適切に理解してもらうこ に対して漠然とした不安を抱 端末の接続処理を利用

子の組み立 導体専用端 ら、アルミ えている人も多くいるが、そ の不安を払拭(ふっしょく) 配慮が必要な点を広く知

ってもらうため、普及活動に

係者なども来訪しており、 でなく、建物の施主や設計関 きる設備がある。同製品の施 工に当たる電気工事業者だけ

ると好評を得ているという。 品の特徴を理解できるととも 使用場面もイメージでき

0

0年03月3

3 0

1

版

講習

だけでなくケーブル延線や盤

の接続などの作業も体験で

技能訓練センター」は、

「らくらくアルミケー

面

建設通信新聞